



銀河系いわてモニター120人に 増田知事が委嘱状手渡す

県は、4月7日、平成12年度の銀河系いわてモニター120人に委嘱状を交付した。モニターの任期は1年で、一般公募60人と市町村長が推薦した60人。県が地域ごとに職業、年齢、性別などを考慮して選んだ。盛岡市のエスポワールいわてで行われた交付式では、増田知事が一人ずつに委嘱状を手渡した。モニターは、知事との懇談会や地方振興局長との懇談会に出席したり、アンケートに回答するなどして県政に対する提言を行う。



障害者を支援しようと作業所 応援団が講演と交流の集い

経営の苦しい県内の障害者作業所の連携と安定した運営を支援しようと、いわて障害者作業所応援団の講演と交流の集いが4月18日、商工経済、農林水産業の各団体、企業や一般から約170人が参加して、盛岡市内のホテルで開かれた。会場には障害者作業所が製作した商品が展示され、交流会では矢巾町の福祉施設あさあけの園の利用者が開会で演奏を披露。小倉昌男ヤマト福祉財団理事長の講演のあと、参加者同士で意見交換を行った。



花巻空港に国際チャーター便 台湾からの観光客が初乗り入れ

花巻空港に4月19日、海外からの初の国際チャーター便が乗り入れた。台湾からの観光客第一陣約230人を乗せた航空機が到着し、観光客が空港ロビーに姿を現すと、県内の観光関係者らが拍手で出迎えた。一行は台湾の旅行会社が募集したツアー客で、それぞれ4泊5日の日程で、県内や青森、秋田などの観光地を巡る。岩手を訪れる外国人観光客の55%は台湾が占めており、北東北三県は合同で、台湾に的を絞り誘致活動をしてきた。



県土を緑でいっぱい 街頭で「緑の募金」を呼びかけ

県緑化推進委員会などが実施主体となって、緑の募金活動が4月26日から5月31日までの期間で始まった。今年、国土緑化運動50周年にあたっており、目標額は5,000万円。初日には、千葉副知事や県林業水産部長らが盛岡市大通の街頭に立ち、買い物途中の人や通りがかりの会社員らに募金への協力を呼びかけた。募金を行った人には、アジサイやコデマリ、マユミといった苗木や、コスモスなどの花の種がプレゼントされた。